

常呂川森林づくり塾で川下の現状を学びました

第2回常呂川森林づくり塾が9月20日（土）に9名が参加して開催しました。今回は、「森」で育った木材が私たちの生活にどのように利用されているかを学習するために、日頃、森林づくり塾でフィールドとしている「自然再生モデル林」を離れて、津別町にある木材工場を見学し学習することとしました。

午前中は、丸太の選別から加工まで最先端の技術で製品に仕上げる合板材工場を見学しました。最先端ということで、オートメーション化されているため、工場内には人が少なく、木材工場とは思えないのに驚いていました。

また、工場の敷地内にあるバイオマス発電所では、使われない端材などを燃料とすることで木材を余すことなく利用していることも知りました。

午後からは、経木などの木製品を作る工場を見学しました。

木材の持つ正目の美しさや木材製品の種類の多さに驚かされました。



その後は、津別町にある巨木を視察し、終了しました。

普段は、見るできない木材加工技術を見学できたことに、参加者の皆さんは、大変喜んでいました。

